

令和5年度 第1回東海村国民健康保険運営協議会議事録

- 1 日時 令和5年8月18日(金) 午後1時30分から2時15分まで
- 2 場所 東海村役場 203委員会室
- 3 出席者 公益代表：吉田充宏 会長，宮内加一 委員(会長代理)
保険医代表：佐川武義委員 ※尾形委員は欠席
被保険者代表：福地さか江 委員，加納里美 委員
(事務局)
福祉部：白石幸洋 部長，保険課：照沼隆行 課長，齋藤規子 課長補佐，小森真衣 係長

4 議題・結果

- ・報告第1号 令和4年度東海村国民健康保険事業特別会計決算について ⇒ 承認
- ・議案第1号 令和5年度東海村国民健康保険事業特別会計補正予算(案)について ⇒ 承認

5 会議の概要

(1) 開会

- ・保険課長進行により開会。

(2) 部長あいさつ

- ・国保運営協議会の委員の皆様には、御多用の中、御出席いただき誠に感謝。また、日頃より東海村国保の運営について、格別なる御高配を賜り改めてお礼申し上げます。
- ・今年の5月8日から、新型コロナウイルス感染症が「5類感染症」に位置づけされ、以前と同じような生活に戻りつつあることに安堵感を覚えると同時に、現在、全国的に増加傾向にある感染者数が、8月中旬以降、感染拡大のピークをむかえるという報道を目の当たりにすると、換気や手洗い、場面に応じた適切なマスクの着用など、基本的な感染予防対策は、引き続き講じていく必要がある。
- ・国民健康保険制度については、国の少子化対策の一環として、令和6年1月から、産前産後4ヶ月間の国民健康保険税の免除が実施される予定であり、マイナンバーカードと健康保険証の一体化についても、様々な課題を抱えつつ、国で議論が進められている。
- ・被保険者の皆様には、これまでも制度改正等があった時には、広報や窓口、チラシ等での周知を図ってきたところではあるが、今後も国から新たな情報提供があった場合には、速やかに周知に努めたい。
- ・本日は、事前にお配りした資料のとおり、令和4年度決算及び令和5年度補正予算(案)について、審議を賜りたい。

(5) 議事録署名人の選任

- ・東海村国民健康保険規則第7条により、福地委員と加納委員を議事録署名人に選任。

(6) 議長の選出

- ・東海村国民健康保険規則第4条第4項により、吉田会長を議長に選出。

(7) 議事進行

- ・吉田議長により議事進行。

【報告第1号】令和4年度東海村国民健康保険事業特別会計決算について

- ・事務局より別紙資料のとおり説明。

質疑応答 ※「・」委員, 「→」事務局

・収納率について資料があるが、収納は担当課が行っているのか。税務課でも収納率が上がるように、様々な手法を取っているが…。

→ 納付が難しい方は、税務課に分納相談をしてもらい、税務課収納管理室とは常に連携を取って対応するようにしている。

・「収入未済」とは、どういったものなのか。毎年このくらいあるのか。

→ 本来、納付により入ってくるべきものが入ってこない、つまり滞納という意味である。今年度は税率改正があったため、予想としては500万円ほど黒字になる予定であったが、見込みまで達しなかった。

・(滞納の)回収率はどのくらいなのか。

→ 滞納繰越分は34.9%である。

・5年経てば納付しなくてよくなるのか？

→ 単純時効ではそうだが、この時効が成立しないよう、税務課で催告書を送付したり、差押処分などを行い、不納欠損しないように対応している。

・保険税軽減7割、5割、2割とあるが、これはどういったことか。

→ 低所得者に対する課税の軽減という制度があり、本来の均等割の7割が軽減され、課税されるのが3割ということである。軽減該当となっている被保険者が多いのが国保の特徴の1つである。

●事務局説明・質疑応答後、議長により【報告第1号】の承認確認あり、一同了承。

【議案第1号】令和5年度東海村国民健康保険事業特別会計補正予算(案)について

・事務局より別紙資料のとおり説明。

質疑応答 なし

●事務局説明・質疑応答後、議長により【議案第1号】の承認確認あり、一同了承。

(8) 議事終了

(9) 事務局補足

・データヘルス計画について資料を配布した。この計画は、国民健康保険法の指針にもとづき、保険者が策定するもので、保健事業の実施計画ともいえる。今年度は、現在の計画の最終年度であり、評価・分析を行い、次の計画を策定しているところである。素案が完成次第、委員の皆様にご意見をいただく予定である。

(10) 閉会

・保険課長により閉会。

(11) その他質疑応答 ※「・」委員, 「→」事務局

・マイナンバーカードで様々な問題がテレビで報道されているが、東海村ではそういったことはあったのか。

→ マイナンバーカードについては住民課で対応しているが、現時点で他人の情報が紐づけされたという事例は聞いていない。ただ、3割負担の被保険者が、オンライン資格確認をしてみたら2割と表示されたらと医療機関から問い合わせがあったため、原因を調査してもらっている。

・コロナになって、精神疾患が増えたということはあるか。

→ 数値的な把握はしていないが、「他人との接触が減る＝認知症が進む」などの影響はあったと思う。社協などが規模を縮小しながらもサロンなどの事業を行い、コミュニケーションを図る機会

を設けている。

以上

東海村国民健康保険運営協議会会長

吉田 亮夫 

議事録署名人

福地 功江 

議事録署名人

加納 里美 